

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 01議会費

項 01議会費

目 01議会費

事務事業番号

01010101

事業名		議会運営システム事業				
担当部署		議会事務局				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	13,722	13,722	11,963		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	13,722	13,722	11,963		
人件費(B)	2,967	2,967	2,967			
事業費計(A+B)	16,689	16,689	14,930			
事業の目的		議会の記録やインターネットによる議会生中継及び録画映像配信を行い、市民に対して積極的な議会活動の情報公開を図ります。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
		本会議場、議会大会議室、第1・第2・第3委員会室、市大会議室の議場等音響及び映像設備〔操作に係る機器、マイク機器、録音機器、インターネット中継（生中継・録画中継）に係るカメラ等の映像機器など〕の維持・管理を行います。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		市議会中継アクセス件数	件	22,602	24,430	35,197
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				本会議場等の映像記録やマイクと映像の切替えがスムーズに動くよう議会システムが構築されていることから、記録・運営が有効的に実施できています。また、インターネット等による生中継や録画配信（5年分の映像が掲載可能）によって、有効的に情報発信を行うことができていることから、「4」としました。
効率性			●			5年分の映像が掲載可能であることや、生中継の際に議員の質問項目を表示しながら映像を流せるほか、議員提出資料があった場合にワイプ表示を行なうなど、議会映像を見ている方にわかりやすく映像配信を実施しています。現時点で、話している内容のテロップが表示できていないなど、映像配信のバリアフリー化も必要になると考えており、「3」としました。
公平性		●				議会中継やホームページ上で議会の録画映像が見られることにより、議場へ傍聴に来ることができない方も、本会議の内容が映像として確認できるよう配慮していることから、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		今後の方向性として、話している内容のテロップ表示を検討するなど、議会中継を見ている人にもわかりやすく伝える取組を行っていきます。				事業継続・終了等 事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

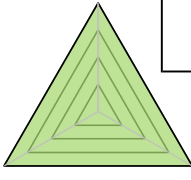
款 01議会費

項 01議会費

目 01議会費

事務事業番号

01010102

事業名		市議会ICT化事業				
担当部署		議会事務局				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	8,364	8,154	4,034	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	1,614	1,139	1,101		
	一般財源	6,750	7,015	2,933		
	人件費(B)	5,934	5,934	5,934		
	事業費計(A+B)	14,298	14,088	9,968		
事業の目的		議会のICT化により、議会機能の強化につながり、議会基本条例に定める議会活動に関する情報の積極的な公開や発信など、広報広聴の充実を図ることで、より一層市民に開かれた議会を目指します。				
事業の内容		SDGs17の目標   1 タブレット・ペーパーレス会議システム・グループウェア導入 タブレット端末40台（議員28台、議会事務局12台）を導入し、ペーパーレス会議システムとグループウェアにおけるアプリを活用することにより、資料のペーパーレス化によるコスト削減と環境への配慮とともに、情報伝達の迅速化や効率化が図られました。 2 Wi-Fi導入 議場・議会大会議室・市大会議室・各委員会室・議員控室へWi-Fiを設置したことにより、ペーパーレス会議システムの安定運用が可能となったほか、オンライン会議への参加が可能となりました。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			ICT化により、議員間の情報伝達や情報共有がスムーズに行われたため、議会機能の強化が図られていることから「4」としました。	
	効率性	●			ペーパーレスにより大量印刷に係る作業時間と印刷コストの低減につながったことにより、業務の効率化が図られていることから「4」としました。	
	公平性	●			タブレット端末通信料の一部を議員負担とすることにより、個々の議員活動の際においてもタブレット端末の利用を可能としており、また、適正運用されていることから「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		ペーパーレスによりゼロカーボンの取組に寄与していると考えます。 また、項目評価のとおり、目的に適した内容で事業を実施できており、今後もより市民に開かれた議会を目指すため、有効性の更なる向上について検討していきたいと考えています。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						